

指定管理者管理運営状況評価

評価対象施設	さいたま文学館
指定管理者	桶川地域文化振興共同事業体
評価対象年度	令和2年度
施設所管課	文化資源課

評価項目	細項目	評価	コメント
利用者の 安心・安全、 平等利用の 確保	安全性の確保	B	概ね適切な事故防止対策等がされていたが、利用者対応マニュアル等に一部不備が認められた。各種マニュアル等を見直し現在は改善が図られている。
	法令等の遵守	A	法令等の遵守について、適切に処理されていた。
	平等利用の確保	A	適切に処理しており、平等利用は確保されていた。
施設の設置 目的の達成	事業の実施	A	新型コロナウイルス感染拡大防止のための休館等により実施できない事業もあったが、インターネット配信等の工夫により、来館できない利用者に対応するなど、事業の充実が図られていた。
	利用状況	A	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、約5か月の休館、利用人数制限(50%)を行った等の影響で利用人数は管理目標を下回ったが、開館中は感染症対策を徹底し、可能な限り計画に沿った館運営が行われていた。
	適切な管理の 履行	A	協定書や事業計画に沿った適切な管理が履行されていた。
	文学資料の適切な 管理・展示	A	燻蒸消毒を行い、中性紙の箱で保存するなど文学資料の劣化防止に努めている。
	財産の適切な 管理	A	適切な財産管理がなされていた。
利用者サービスの 向上	サービス内容の向 上	A	新型コロナウイルス感染拡大予防や利用者の快適な空間利用を目的に、講座室や研修室に空気清浄機を設置した。また、イベントや講演等を自宅で楽しめるように、動画をホームページに掲載するなど、サービスの向上が図られていた。
	利用者の満足度	A	施設に対する満足度が、職員対応、施設双方とも目標に達した。 (目標)職員対応90%以上 → (実績) 91% (目標)施設自体90%以上 → (実績) 100%
総合評価		A	適切な管理・運営がなされており、概ね良好である。

特記事項	特に評価すべき点	新型コロナウイルス感染症が拡大する中、休館や施設利用制限を行うなど難しい館運営を強いられたが、感染症拡大予防を図りつつ、事業の様子をインターネット配信するなど、利用者サービスを工夫していた。結果として利用者満足度が90%以上と高い水準となっている点は高く評価したい。
	次年度に向けて 改善が望まれる点	引き続き新型コロナウイルス感染拡大防止の対応が求められるため、より積極的にオンラインを用いるなどの手法で、館運営を行うよう努められたい。